

「学校再開にむけて」

今日までの2週間、学級を2グループに分けて登校させ、教育活動を行ってまいりましたが、いよいよ来週（6月1日）から通常の学校生活が再開されます。まだ新型コロナウイルスの影響が懸念される中の再開です。生徒や保護者の皆様にはまだまだ心配な面が多くあると思いますが、学校としては、文部科学省が示した「学校の新しい生活様式」を基に感染症予防対策に十分留意しながら少しでも通常の教育活動に近づけていきたいと考えております。

まずは、授業の充実を図りながら、時数を確保し、少しずつ遅れを取り戻していきます。さらに短縮された夏休み・冬休みも有効に活用しながら学業面の不安解消に努めてまいります。

次に、この度の臨時休校では、学校という社会の中で、行事や様々な体験、そして部活動が、生徒の心身の成長へたいへん重要な影響をもたらすことをあらためて強く認識しました。学校では1年生から3年生までが一緒に生活しています。その中で、例えば1年生は先輩の姿を見たり、または直接先輩に教えられたりすることで、確かな成長をとげられます。また逆に、先輩たちは後輩の存在を意識することで、自信と自覚が生まれます。また同学年の仲間の成長を感じたり、教職員からの指導・支援からも、心と身体は豊かに育っていきます。その意味で今回の2月末からの断続的な臨時休校が、学校という社会に生きる生徒たちに与えた影響は計り知れないものがあると感じています。

来週から、また学校が始まります。今までと同様の活動は難しいとは思いますが、時間や形式・形態を工夫し、生徒の心と身体の成長を図っていくよう巴中学校教職員一同努めてまいります。

保護者の皆様、そして支えてくださっている地域の皆様、あらためてこれからの巴中学校にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校長